



四日市学習(11月)・ケーキづくり(12月)(宇佐子ども体験教室)

宇佐子ども体験教室は11月に四日市の歴史学習、12月にケーキ作りを行いました。

四日市歴史学習では小野辰浩さんを講師にお迎えしました。四日市の名前の起こりは、戦国時代に佐賀県からやってきた渡辺氏がえびす様を祀った四日にお祭りをし、市が開かれるようになったことだということが分かりました。その後櫻岡神社や東西別院等を見学し、実際に見て、学習を深めました。

ケーキづくりではヘルスメイトの方も名に協力していただき、午前と午後に分けて実施しました。スポンジ生地づくりからケーキを入れる箱へのデザイン書き、生クリームづくり、いちごを使ったデコレーションまでの4つの工程を丁寧に教わりながら、体験しました。子どもたちは楽しく思い思いのオリジナルケーキを作っていました。



学級の活動紹介Ⅳ(長峰婦人学級 料理教室)

12月の学級は料理教室でした。この日はたこ焼き、明石焼き、パエリア、白菜のクリーム煮、豆腐の肉巻き、ニンジンと卵のサラダの6品を手分けして作りしました。時間的には1時間30分ほどかかりましたが、楽しく調理できたので、短く感じました。中には初めて挑戦する料理もあったようで、レシピを見ながら、重量や調理法を確認していました。筆者はたこ焼きの担当でしたが、家庭でやる時と若干分量が違っていたので、少し柔らかなたこ焼きになりました。丸くするのが難しかったです。まあ形は悪くても味の方は良かったです。

作り始めて30分ほど過ぎたころから、料理場にはおいしそうないい香りが漂っていました。最終的には、出来上がった料理を容器に詰め、全員で昼食としていただきました。明石焼きをダシにつけて食べるのは久しぶりなので、40年前を思い出す人もいて、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



医師講話(八幡高齢者学級)

12月15日(木)、八幡高齢者学級で宇佐胃腸病院中野眼一院長をお招きし、医師講話を行いました。テーマは「老いを若く生きる」でした。

老化の予防のためには70代までの検診やがん予防の食生活が重要だということでした。また、老人の心理についても話があり、失敗したことをいつまでもくよくよするのではなく、よかったことを大事に考え、「自分の人生はいい人生だった」と常に思うように心がけることが大切だと話して下さいました。

前向きな先生のお話に感銘を受けました。



令和5年度自主サークル募集

四日市コミュニティセンターでは、たくさん自主サークルが趣味の活動を行っています。市内にお住いの人であれば、誰でもサークル登録ができ、自分たちの趣味を伸ばす活動ができます。下記の期間募集しますので、希望される方は四日市公民館まで奮って登録においでください。

○サークル募集期間

令和5年1月6日(金)

～3月2日(木)